

長浜市立西中学校「#コロナに負けるな西中プロジェクト」

ユネスコ
スクール
レポート

5月下旬、市内小中学校ではコロナ禍により長く続いた閉校を経て、学校再開に向けた分散登校が行われていました。その時期に西中学校校舎に掲げられていた懸垂幕(写真右)をご覧になった方は少なくないと思います。当時の西中学校HPを見て、これが新型コロナウイルス感染症の拡大による学校閉校中に出された、美術科の課題であることを知りました。そこで美術科の日名子先生に課題を出された経緯を伺いました。

いつもなら希望と期待に溢れる4月が、新型コロナウイルス感染症の拡大によって生徒にとっても学校にとっても、とても寂しい1ヶ月になってしまいました。学校では何とか生徒と繋がりたいという思いから、先生によるYouTubeを使った生徒向けのメッセージの発信や、教科ごとに自作教材を提供する試みが始まったそうです。そこで美術科では、私たちの健康、命、生活を支えるために頑張ってくださっている方々に向けて、生徒作品で応援・感謝のメッセージを送る取り組み「#(ハッシュタグ)コロナに負けるな西中プロジェクト」を計画し、全校課題として生徒作品を募集されました。集まった作品の中から1点を選び、テント地に拡大プリントした懸垂幕を作成して掲揚したということでした。



掲揚後は地域住民の方や医療従事者から感謝の声が多く寄せられた。第2弾も8/20まで全校生徒から募集され、今後発表される予定。西中学校のこの懸垂幕は今も私たちにエールを送り続けている。



ご承知のとおり西中学校は、長年にわたる長浜花火大会後の清掃活動や伝統文化学習が評価され、平成28年にユネスコスクールに登録されました。今回の取材を通して、社会で起きている課題を教材としたこの学習は、ESD(左図参照)の新たな分野であると思いました。そして人権や健康・福祉分野の学習や、教科横断的な学習、社会を創る力の育成などにおける今後の広がり期待したいと思いました。

日本ユネスコ協会連盟は、ユネスコスクールを対象にSDGs達成に向けて行われるESDの実践に対して1校当たり10万円を上限とした助成を行っており、延べ1,000校以上の活動を支援してきました。この機会に再度、本助成金の活用を紹介させて頂きました。(片山勝)

ユネスコスクール 文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESD(持続可能な開発のための教育)推進拠点校として位置付けている。世界182カ国で11,000校以上、日本国内では1,116校(平成30年10月現在)がUNESCOから認定されている。各学校では、環境、国際理解、人権・平和、防災、健康・福祉、エネルギー、食育、世界遺産や地域遺産、伝統文化、生物多様性、貧困などの分野での取り組みが行われている。

「ユネスコスクールで目指すSDGs 持続可能な開発のための教育」文部科学省：2018改訂版より

2020年長浜ユネスコ協会会報vol.2から抜粋



ユネスコスクールの「4つの基本分野」の1つに「異文化理解」があります。社会がより他文化化、多様化するなか、多様性の促進の重要性も増しています。そこで、

- ① 多文化への理解や敬意を深める
 - ② 若者に自分たちの文化を学び自身の文化的背景、独自性を再確認するよう促す
 - ③ 今日の地球規模の問題に立ち向かうための国際協力の必要性について意識を高める（ユネスコスクール公式ウェブサイトより）

ことを、加盟校は学校教育の視点の中に取り入れています。

ユネスコの理想を実現するユネスコスクールに加盟している本校では、2006 年度から地域の指導者を招いて、伝統文化を学ぶ総合的な学習の時間に力を入れています。生徒は、2 年生の後期から、箏、尺八、日本歌曲、剣舞・歌謡舞、囃子、語り部、茶道、華道、書道の 9 講座から関心のある講座をひとつ選択し、20 回の授業を経て、3 年生の 6 月の発表会で、その学習の成果を披露しています。

ユネスコ無形文化遺産に登録された長浜曳山祭を中核に、地域・日本の伝統文化を学ぶ伝統学習は、地域全体で学校を支え、住民と一緒に教育を推進する取り組みの先駆けでもあり、本校の学校教育の柱の一つになっています。



箏、尺八講座



囃子講座



剣舞歌謡舞講座



華道講座



書道講座



語り部講座



日本歌曲講座



茶道講座

奥びわ湖健康マラソン(5月19日)に ボランティア参加しました

西浅井中学校の生徒が運営ボランティアとして参加するようになって20年目になりました。今年もほぼ全員の生徒が参加し、学校ぐるみで地域のイベントを盛り上げました。

マラソン参加者の多くが、中学生の元気な声かけに励まされ、次のようなコメントを返してくださいました。

■給水所でのボランティアの中学生のはじけるような笑顔での応援がとても力になりました。

■ボランティアの中学生が一生懸命で、感謝、感謝です。

■中学生の活気ある応援に、とても励まされました。

■昨年に引き続いての参加でしたが、やはり中学生の対応は今年も良かった。来年も必ず参加します。

文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育 ESD (Education for Sustainable Development) の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取り組んでいます。



6月30日近畿ユネスコ協議会開催

片山会長と酒井副会長が出席されました。今年は奈良市はぐくみセンターで開催されました。協議会規則に基づいた役員の改選の結果、会長に中室雄俊氏(奈良ユネスコ協会)、副会長に片山勝会長、監査委員に酒井藤典副会長が就任することになりました(いずれも任期2年)。

総会後は、(公社)日本ユネスコ協会連盟の鈴木理事長から現状報告を受け、ユネスコ活動についての意見交換がされました。



■□ 会員の皆さまへ『今後の活動予定』と『お願い』 □■

「平和の鐘を鳴らそう！」

■日時：8月15日(木)

午前11時45分～12時30分

■場所：長浜別院大通寺

■内容：「平和への祈りと願い」を込めて大通寺の鐘をつきます。ぜひご参加ください。

令和元年度の会員継続加入と会費納入のお願い

本年度継続加入手続きがお済みでない会員の方は、手続き並びに会費納入にご協力をお願いします。4月にお送りしました継続申請用紙と会費の振込用紙がお手元に無い方は、事務局にご連絡ください。

■長浜ユネスコ協会事務局 TEL 65-6552

日本ユネスコ協会連盟 第 68 回定時総会の報告



6月17日(土)、日本ユネスコ協会連盟 第68回定時総会が東京都千代田区にある大手町サンスカイルームで開催され、本会から片山会長が参加しました。

はじめに、1号議案「2016年度事業報告書及び計算書類等」が承認され、続いて2号議案「評議員・理事」が選出されました。評議員には引き続き長浜ユネスコ協会、そして、新たに彦根ユネスコ協会が選出されました。なお、6期12年会長を務められた松田昌士氏の後任に、大橋洋治氏(ANAホールディングス株式会社相談役)が就任されました。3号議案「民間ユネスコ運動70周年ビジョン」が採択され、5つの重点目標と、先に国連が策定した17の

「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連づけの説明がありました。

2017年度事業関連では、ミャンマーを寺子屋事業の新規支援国とすること等が報告されました。詳しくは、ユネスコの機関誌、ホームページをご覧ください。

★西浅井中学校より「山門水源の森」保全活動(3年生)の報告★

本校3年生は、毎年、ふるさと西浅井にある「山門水源の森」での保全活動を行っています。今年も、6月6日(火)9時に森の楽舎に集合し、「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の方よりガイダンスを受け、活動場所へと移動しました。道沿いには、毎年2年生が播種している、希少種のササユリが花をつけているところも見られ、森林浴と自然観察をしながらの移動となりました。

林床整備地点では、3年生全員が、枯れ木や枝、倒木などを集める活動に取り組みました。みんなよく頑張ったので、1時間あまりの活動で、辺り一帯が、見違えるほど美しい林床になりました。

本校3年生は小学生の頃から、何度となく山門水源の森で活動をしてきましたが、中学校では今回が最後の保全活動となります。これまでの感謝を込めて、また、これからも自分たちの手でふるさとを守っていくぞという思いを強くしながら、集中して整備活動に取り組みました。そんな生徒たちの活動を、最高の青空が見守ってくれていました。



■□■ 会員の皆さまへ『今後の活動予定』について ■□■

「平和の鐘(かね)を鳴らそう！」

■実施日：平成29年8月15日(火)

■時間：11:30~13:00

■場所：長浜別院 大通寺
(長浜市元浜町)

■目的：貧困、紛争、自然災害などで苦しむ世界の人々への祈りの気持ちを込めて、一般の方々とともに平和の鐘をつきます。



「民間ユネスコ運動活動紹介」

■実施日：平成29年10月15日(日)

■時間：11:00~14:00(予定)

■場所：渡岸寺観音堂一帯
(観音の里ふるさとまつり門前市)

■目的：ユネスコ協会の活動を広く市民の方に知ってもらうとともに未来遺産運動などの募金活動をします。

「ユネスコ研修旅行」

■実施日：平成29年11月7日(火)

■場所：二条城ほか(京都市)



長浜ユネスコ協会 会報H29 vol.1から抜粋

※本年度継続加入手続きがお済みでない会員の方は、手続き並びに会費納入にご協力をお願いします。

長浜ユネスコ協会事務局(生涯学習文化課内) Tel65-6552 fax65-6571